

拓く ひらく

人の話は目と心で聴く みんなが先、自分が後 気づき、考え、行動する

明石市立衣川中学校 第1学年
学年通信 No. 21
2018年(平成30年7月23日)

1学期が終わる“74回生の様子”

いよいよ明日で1学期が終わります。先週のHRで74回生の1学期を振り返り、2学期につくりたいクラスを話しました。自分は、1学期のクラスについて考えようと思いましたか。もう一度、目を通してください。今の自分たちの核心をついた意見がでていますよ。

◆1学期のクラスの様子は…

- 授業中の私語が以前より減って、2分前着席をする人が増えた。
- 団結力は高い
- あいさつはしっかりできている
- 仲間に対する気づきがあった
- 忘れ物が少なくなった
- 自分勝手な行動をとる人が多かった
- 授業中にまだまだ集中できていない人がいる
- 知らない私語が多く、けじめができていない
- 自分優先の人が多く、2分前着席ができていない。
- 人の話を目と心で聴けていない。
- 悪口が多い
- 整理整頓ができていない



◆2学期、クラスが更に成長するために、具体的に頑張るべきこと

- ☆ やって良いことと悪いことを自分の中で考えておく
- ☆ 1人1人が授業を大切にして、しっかりとけじめをつける
- ☆ 授業に集中する
- ☆ 「2分前着席」「私語を無し」を絶対に意識して行動する
- ☆ ロッカーの整理をする
- ☆ 気づいていない人に声かけをする

1学期が終わるまで残り1週間となりました。あなたのクラスは、この4ヶ月で全ての人が過ごしやすい、そして居心地の良い場所となっているでしょうか。

あいさつをハッキリと大きな声でできる人が増え、部活動に一生懸命に取り組む姿勢が日に日に良くなりました。さらに、毎日の正門通過の遅刻者0人の日がほとんどの日で続いているということも74回生が成長している証でしょう。

その一方で、最近は授業で忘れ物があったり、提出物が期限までに出なかったりするようです。また、授業に集中できなかったり、ひどいときは私語をして授業を真剣に受ける人達の邪魔になっていたたりすることもあるようです。一部の人が、それを授業担当の先生や同じ学校の仲間にも注意してもらって気づく人もいます。残念ながら“話を目と心で聴”けていなかったり、“みんなが先、自分が後”

が意識できていない人もいます。

「協力する」「マナーを守る」「ルールを守る」「モラルを守る」。どの言葉もみんなが快適に生活するために必要な行動であり、考え方です。74回生の人の中にも、仲間の気持ちや同じ空間に生活する人の気持ちに『気づき』、どう行動すれば良いかを『考え』ることができる人が何人もいます。あとは、それを『行動する』ことができるかだけなのです。

『行動する』ために、各クラス・学年で反省した内容と、4月初めに通信で伝えたことを照らし合わせてみてください。

4月初めに伝えた

仲間と協力して生活するための 3つのキーワード

『人の話は目と心で聴く』

むずかしい中学校の勉強も、クラブの技術の練習も、これができて身に付き始めます。大人が、「衣中生のためにいい話をしたい」と思ってもらえるように、「目」と「心」を使って聴くのです。

『みんなが先 自分が後』

一人では簡単にできることも、人がたくさん集まれば難しくなります。自分だけよければいいという勝手な行動は、みんなに迷惑をかけてしまいます。

『気づき、考え、行動する』

人に言われてから動くだけでは、半人前です。学年が進むにつれて誰の手もかりず、動ける人が増えるはずですが…。

本当に良い学級・学年・学校とは、自分やみんなが、良い方向に変わっていける学級・学年・学校です。これは、毎日の班の活動や部活動にも言えることです。

それは単に成績が上がるとか、優等生になるということではない。

本来の自分を取り戻し、正直に出し合え、さらに変わっていける雰囲気があるということ。

自分がどう変わっていけるかは、自分が一番よく知っている。

そして、それによって自分の心の状態がきまってしまうのです。

毎学ノート終了

～毎日コツコツと努力をしている人がいます～

6冊目終了 3組
2冊目終了 1組
1冊目終了 1組

2組

2組

3組

4組